

6月から村県民税と 保険税の納税がはじまります

昭和四十六年度の村税は「保険税は医療費の増大により止むなく増税しなければなりません。医療費の増は直ちに保険納税通知書がなれば過ぎに過ぎません。」

ことしの税制改正

中心に税法が改正され、そのあらましは次のとおりです。所得税では、給与所得控除をはじめ各種の所得控除が引上げられました。また、青色申告者について青色事業主特別経費準備金が創設されました。相続税、贈与税では、配偶者控除などが引上げ

消えゆく方言

「ああ、こわい。田植えがあるいきいきした方言は美し」と思っています。しかし、その方言も今やしだいに消え去ろうとしています。これらができるだけ純粋な形で集め、資料として残すという村の方針に、私も敬意を表していたのですが、昨年十月、縁があって村誌編纂の手伝いをするうちに、岩室中学校文芸クラブ

消防演習

6月15日

定期消防演習が、今年六月十五日和納小学校グラウンドで開催されました。団結を強化し、志気を昂揚すると共に、有事に備えて技術を練磨することが定期消防演習の目的です。当日は精鋭四百名の団員によって、機敏なポンプ操法、堂々の街頭行進、実戦さながらの仮装演習を行いました。この偉容をぜひ御覧下さい。

「あ、こわい。田植えがあるいきいきした方言は美し」と思っています。しかし、その方言も今やしだいに消え去ろうとしています。これらができるだけ純粋な形で集め、資料として残すという村の方針に、私も敬意を表していたのですが、昨年十月、縁があって村誌編纂の手伝いをするうちに、岩室中学校文芸クラブ

道路など社会資本を充実するために、自動車について新税が創設されました。(昭和四十六年十一月一日から施行)原則として印紙で納付。改正内容の詳細については、巻務務署または、役場におたずねください。

国民年金には「加算年金(所得比例)」があり、これは、一般の国民年金加入者が納める一月四百五十円の保険料に、三百五十円を加算して納入し、将来受け取る老齢年金も、四百五十円を加算した場合の年金額に、加算した老齢年金がつけられる仕組みです。◎老齢年金の額は保険料を納めた年数によって下記の



岩室中学校文芸クラブのメンバー
採集にかけたときは、よろしくお願ひします。

区分	一般のもの		加算年金(所得比例)	
	1ヶ月450円納めた人	1ヶ月450円と350円合計800円納めた人	1ヶ月450円	合計800円
25年	年額 96,000円 月額 8,000円	年額 115,200円 月額 9,600円	年額 150,000円 月額 12,500円	年額 180,000円 月額 15,000円
30年	年額 115,200円 月額 9,600円	年額 153,600円 月額 12,800円	年額 180,000円 月額 15,000円	年額 240,000円 月額 20,000円

加算年金(所得比例)に 加入しましょう

この年金額は、物価の上昇や生活水準の向上に応じて引き上げられます。◎保険料の免除をうけている人や「五年年金加入者」以外の国民年金加入者は、どなたも加入できます。◎ご希望の方は「国民年金所得比例保険料納付申出書」を提出してください。用紙は役場窓口にて備えてあります。印かんを忘れない様にして下さい。

観音道路完成

ピッチあがる建設工事

田の浦海岸「崖松山」の文明の利器「自動車」が、下から、銅山跡まで約一キロメートル、中員四メートルの立派な道路が完成しました。開びやく以来、人馬しか通ったことのない道を、今



水田酪農の勉強に

ちかく三重県青年 国内研修生が来村

農業のきびしい現実を直土を愛し、土に生きようと面してとすれば農業の方を積極的な意欲と実践力とを有した青年が「水田利用

(表1) 45年度中に発生した交通事故

全 国		(前年比)	
件数	718,080件	+	10.4%
死者	16,765人	+	13.1%
死傷	981,096人	+	11.5%

新 潟 県		(前年比)	
件数	13,700件	+	23.9%
死者	388人	+	9.6%
死傷	17,825人	+	24.1%

岩 室 村		(前年比)	
件数	39件	+	77%
死者	1人	+	25%
死傷	50人	+	25%

(表2) 県内1月平均の事故発生状況

件数		前年	
死者	37.5人	30.3人	0.97人
死傷	1,068人	39.3人	39.3人

交通事故激増

老人はとくに気をつけましょう

新潟県安全会議が、昭和四十五年における県の交通事故発生状況を発表しました。事故の未然防止のため、その主なものをひらいてみました。

1. 市街地での事故が全事故の約半数を占めている。
2. 重傷事故が、全事故の二一・八%で全国平均(一五・三%)より高い。
3. 自家用者事故が約九〇%を占めている。
4. 全死者中、老人と子どもが全体の割合が高い。
5. 国道整備が進むにしたがって、県外との交通が増加し、県境地域の道路での事故が増えている。
6. 交通安全施設の不足、および運転者、歩行者マナーの低さから人対車両の事故が多い。

岩室駅開業60年、新築7周年記念

“特別記念号” 運 転

- ◎コース 岩室駅→警備熱海 警光パラダイスホテル泊り(特別仕立急行列車)
- ◎期 日 昭和46年11月11日~12日
- ◎費 用 5,680円(列車、ホテル一切を含む)
- ◎定 員 300名
- ◎お申込は(岩室駅) (TEL1034)
- ◎記念号の愛称を募集しています。ふるって応募して下さい。

直前横断が圧倒的に多くなっています。子どもの事故発生状況は幼児および小(中)学生による交通事故による死者数は五七人、負傷者数は二、一四〇人となっており、これを前年と比較してみますと、死者数に二人増、負傷者数四四九人増で平均増加率を上回っています。事故の状態、原因別では幼児(園児)で小学生が自転車運転中、車の直前横断、中学生が自転車運転中等が特に多くなっています。

交通安全施設による設置効果も極めて大きく、そのうち交通信号機、歩道、横断歩道橋等の施設の設置、右折禁止、一時停止等規制の効果が大きくなっています。